

平成 21 年度麻布大学群馬県同窓会通常総会の開催

本県同窓会の通常総会は、明治の文豪の徳富蘆花が親しんだ伊香保温泉の老舗「千明仁泉亭」において、平成 21 年 6 月 26 日に開催されました。本県同窓会の総会場所に利用し始めて今回で連続 16 回目になりました。

今回は昭和 24 年卒から平成 21 年卒の幅広い同窓生 31 名（全会員数 85 名）が参加してくれました。総会では役員改正が議論され、16 年間の長きにわたり会長を務めて頂いた泉岩雄先生（昭和 24 年卒）が顧問に、新会長には稲庭政則前副会長（昭和 35 年卒）が、新副会長には安中憲治先生（昭和 45 年卒）が選出されました。（そのほかにも役員の改選があったわけですが省略します。）

この総会には例年、お忙しい中でも大学から先生に来てもらっておりますが、今年は環境保健学部の岸川正剛先生に来て頂きました。私個人的には、学生時代に世話になった研究室時代の大学院生であり大変懐かしい先輩でありました。先生からは、総会の席上で大学の最新情勢や今後の学校の施設整備計画についても情報提供して頂きました。

また、今年の総会では、平成 20 年度全国家畜保健衛生業績発表会で農林水産大臣賞の栄誉を受賞された野末紫央先生（平成 11 年卒）に対しまして同窓生としても大変光栄であることから記念品を贈呈し、その功績を同窓生全員でお祝いいたしました。また、環境保健学部の卒業生 3 名の参加があり、総会や懇親会が大いに盛り上がりました。

総会終了後の盛大な懇親会ですが、同窓生一人一人から近況報告がされ、大先輩方からは、「来年もこの伊香保で会いたいものです。」との話が数多く出されました。また、塚原寿夫先生（昭和 34 年卒）は、この総会に会わせて伊香保温泉周辺の様々な銘山を毎年走破しているそうです。

同窓生が一同に会し、学生時代のことを思い出し語り合うほどに、若さを取り戻す大先輩方を拝見し、事務局としては大成功だったと自己満足しております。翌日の朝食時に、来年も 6 月末の金曜日、この宿で元気に会うことを皆さんで確認して無事終了することができました。

（群馬県同窓会事務局長：宮川）

